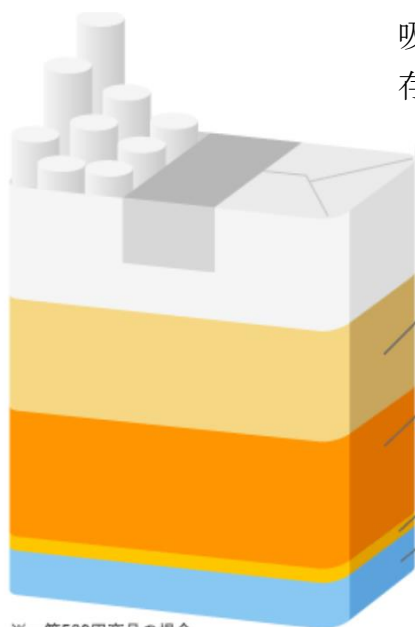


週刊 タバコの正体

タバコには税金が課せられています。下図にあるように580円のタバコを買うと、その中には消費税と国たばこ税、地方たばこ税を合わせて357.6円が含まれています。なんと価格の約6割が税金として国や地方自治体に収められているのです。全国の推定1400万人もの喫煙者が毎日何本も消費するのですから、その税収は相当な額になります。グラフにあるようタバコ税は国税として1兆752億円、地方税として1兆714億円が納められていて、税収全体の1~2%に及んでいるわけです。

こうみると、タバコを買うとその税金は国や地方自治体の財政に貢献していると感じます。さらに、多く売れば売れるほどその貢献度は上がり経済効果も上がるでしょう。しかし、一方で売れば売れるほど人々の健康が害される事を忘れてはいけません。

財政面でみればタバコの税収はなくてはならない存在ですが、タバコを吸い続けると健康を害し病気になったり死亡する人もたくさんいる事実も存在するのです。言い換えれば、タバコは人々の健康を害しながら財政に貢献していると言えます。



※一箱580円商品の場合

<内訳>

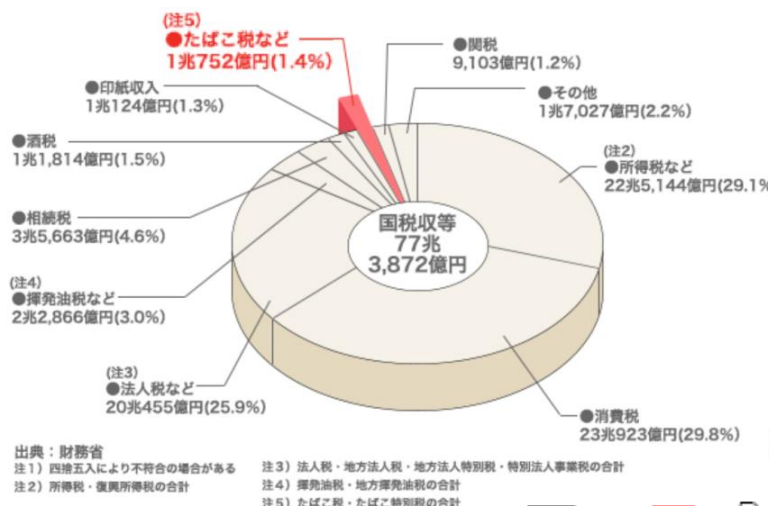
- 国たばこ税：136.04円 (23.5%)
- 地方たばこ税：152.44円(26.3%)
都道府県たばこ税：21.4円(3.7%)
区市町村たばこ税：131.04円(22.6%)
- たばこ特別税：16.4円(2.8%)
- 消費税：52.72円(9.1%)

たばこの税負担合計
357.6円/箱
(61.7%)

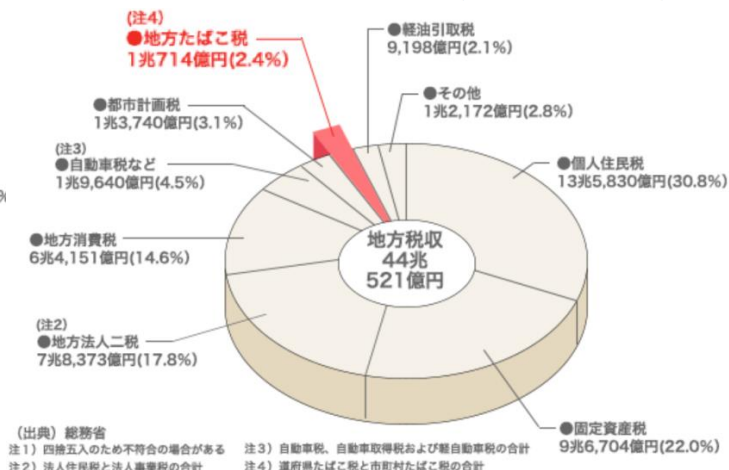
タバコはこんな二面性を持った厄介な商品ですが、皆さんは、自分や身近な人の健康を第一に考えて、タバコに手をださないで下さい。

産業デザイン科 奥田 恭久

国税収等の内訳 (2023年度)



地方税収等の内訳 (2022年度)



JT HP から